

(平成22年6月分)

部 門	市況の概要
野 菜	6月期の野菜の入荷状況は、春先からの天候不順による生育の遅れから根菜類、葉菜類、果菜類で入荷減となった。土物類は、たまねぎで、生育遅れによる入荷減であったものの、ばれいしょでは、一部産地の入荷が本月にずれ込んだため、前年を上回った。土物類全体では、前年並みとなった。野菜全体の入荷量は、前年同期を5%下回った。 価格は、生育の遅れによる入荷減及び全国的な品薄状態から多くの品目で単価高となり、野菜全体としては前年同期を10%上回った。 品目別には、長大根が入荷増の単価安、はくさい、ピーマン、ばれいしょが入荷増の単価高、きゅうりが入荷前年並みの単価高、西洋にんじん、キャベツ、ほうれんそう、なす、トマト、たまねぎが入荷減の単価高、レタスが入荷減の単価前年並みとなった。 根菜類は、入荷が4%減少し、価格は3%高となった。 葉菜類は、入荷が6%減少し、価格は7%高となった。 果菜類は、入荷が6%減少し、価格は14%高となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は21%高となった。
果 実	6月期の果実の入荷状況は、春先からの天候不順によりすべての品目で入荷減となり、果実全体の入荷量は、前年同期を25%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を20%上回った。 品目別には、ふじりんご、デラウェア、アールスメロン、アンデスメロン、大玉スイカが入荷減の単価高、ハウスみかんが入荷減の単価前年並み、桜桃が入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が13%減少し、価格は9%高となった。 りんご類は、入荷が13%減少し、価格は23%高となった。 桜桃は、入荷が23%減少し、価格は4%安となった。 ぶどう類は、入荷が22%減少し、価格は16%高となった。 メロン類は、入荷が22%減少し、価格は33%高となった。 スイカ類は、入荷が32%減少、価格は21%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
----------	-------

【根菜類】 長大根 西洋人参	青森県、北海道、千葉県を中心に、長崎県、鹿児島県からの入荷。 生育の遅れていた長崎県産、鹿児島県産の入荷が、本月にずれ込み入荷量は、前年同期を7%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を14%下回った。 長崎県を中心に、兵庫県、和歌山県、徳島県からの入荷。 主力の長崎県産で生育期の低温により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を20%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を40%上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	長野県を中心に、茨城県、福岡県、群馬県、滋賀県からの入荷 主力の長野県産が生育の遅れから入荷減となったが、茨城県産の入荷が順調であったことから入荷量は、前年同期を4%上回った。 価格は、入荷増ながら加工・業務需要が多く、前年同期を7%上回った。 京都府、茨城県を中心に、兵庫県、愛知県、鹿児島県、長野県からの入荷。 長野県産で、生育期の低温と干ばつの影響による生育の遅れから入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を24%上回った。 岐阜県を中心に、茨城県、滋賀県、京都府、北海道からの入荷。 岐阜県をはじめ多くの産地で、生育期の低温、日照不足の影響により作柄が悪く入荷量は、前年同期を14%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を6%上回った。 長野県を中心に、兵庫県、長崎県、山梨県、茨城県からの入荷。 主力の長野県産で、生育期の低温と干ばつの影響による生育の遅れから上旬から中旬にかけて大きく入荷減となった。下旬以降、順調な入荷となったものの、全体の入荷量は、前年同期を21%下回った。 価格は、入荷の少なかった上旬は著しい高値で推移したが、下旬以降、順調な入荷となり安値で推移した。月全体では前年同期並みであった。
【果菜類】 きゅうり	宮崎県、滋賀県、高知県を中心に、福岡県、京都府からの入荷。

なす	滋賀県産，京都府産で，生育の遅れから入荷減となったものの主力の宮崎県産で，入荷が順調であったことから全体の入荷量は，前年同期並みであった。 価格は，全国的な品薄状態から前年同期を25%上回った。
トマト	高知県を中心に，岡山県，京都府，滋賀県，徳島県からの入荷。 高知県産，岡山県産の入荷は，順調であったものの，京都産，滋賀県産で，天候不順により入荷減となったことから全体の入荷量は，前年同期を11%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を23%上回った。
ピーマン	宮崎県，茨城県を中心に高知県，大分県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により作柄が悪かったが，中央集散機能が発揮され，入荷量は，前年同期を8%上回った。 価格は，全国的な品薄状態から前年同期を13%上回った。
【土物類】 ばれいしょ （メイク含む）	長崎県を中心に，熊本県，北海道，静岡県，茨城県からの入荷。 生育の遅れていた熊本県産の入荷が，本月にずれ込み，全体の入荷量は，前年同期を9%上回った。 価格は，全国的な品薄状態から前年同期を22%上回った。
たまねぎ	兵庫県を中心に，佐賀県，北海道，長崎県，滋賀県からの入荷。 主力の兵庫県産で，天候不順により生育が遅れたため，入荷量は，前年同期を7%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を6%上回った。
【その他野菜】 青うめ	和歌山県を中心に，福井県，奈良県，京都府からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により作柄が悪く，入荷量は，前年同期を8%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を10%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	佐賀県を中心に、長崎県、和歌山県からの入荷。 佐賀県を除く各産地で、栽培面積を減少しており、入荷量は、前年同期を５％下回った。 価格は、前年同期並みであった。
ふじ （サン含む）	青森県からの入荷。 ６月後半の急激な気温の上昇により腐敗等の発生が多く生じたため、入荷量は、前年同期を８％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を１９％上回った。
桜桃	山形県を中心に、山梨県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により、生育の遅れがみられた。山梨県産は、本月に入荷が集中し入荷増となったが、山形県産は、下旬以降からの入荷となり入荷減となった。全体の入荷量は、前年同期を２３％下回った。 価格は、入荷減ながら、主力の山形県産の品質が悪く、前年同期を４％下回った。
デラウェア	島根県を中心に、奈良県、大阪府、山梨県からの入荷。 各産地とも生育期の低温の影響から作柄が悪く、入荷量は、前年同期を３０％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を２１％上回った。
アールス	静岡県、熊本県を中心に、高知県、宮崎県からの入荷。 熊本県産と宮崎県産で、生育初期の低温により小玉傾向での入荷となり、全体の入荷量は、前年同期を１６％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を１４％上回った。
アンデス	茨城県、熊本県を中心に、山形県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により小玉傾向での入荷となり、入荷量は、前年同期を２１％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を３６％上回った。
大玉スイカ	鳥取県を中心に、熊本県、長崎県、愛知県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により小玉傾向での入荷となり、入荷量は、前年同期を３３％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を１９％上回った。